

日々の活動を綴ったブログ始めました。ホームページの施工例同様、参考になさってください。

リフォームワンポイントアドバイス

今より浴槽を大きく低くしたい。

浴室内に置くバランス釜を使用している方は、浴槽を今より約三五〇〜四五〇mmも広くできます。

ホームページ <http://www.egao-sintex.com/> で

は、他の施工例をカラー写真で載せてあります。工事の様子も分かりますので、ぜひご覧ください。

工事情報

■浴室のタイプ■

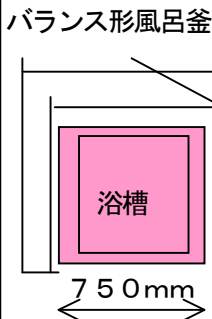
浴槽、風呂釜、給湯器には様々なタイプがありますが、今回はバランス形の風呂釜を使用している方が対象のお手軽リフォームです。

バランス形の風呂釜は浴槽の横に有り、長方形の箱型をしています。だいたい三十年くらい前の戸建住宅やアパート、マンションなどに多く使われています。

浴室は〇・七五坪タイプで

浴室内寸法が一七〇〇×一二五〇mmくらいです。洗い場も必要なので、一二五〇mmの中にバランス形風呂釜と浴槽を納める事になります。

以上から浴槽長さ七五〇×高さ650mmくらいが一般的に使用されていて、浴槽が狭くて、高い事に不満を感じている方も多いです。



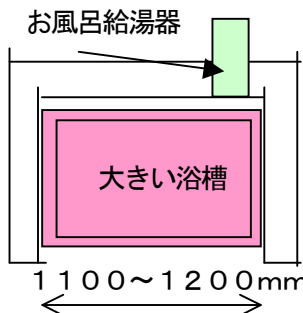
■広くできる訳■

バランス形の風呂釜には四角い排気筒(煙突)があり、浴室の外壁へ出しています。

そこから燃焼した排ガスが出ているのです。

大体この排気筒(煙突)と同じぐらいの大きさで、排気筒(煙突)取り外した後に収まる小型の『風呂給湯器』があります。

これを使うと、浴室内に『風呂給湯器』が出っ張らず、浴槽長さ、最大一二〇〇mmまで伸ばすことができます。



この『風呂給湯器』は小さいながらも高性能で、スイッチ一つで自動のお湯張り、保温、追い炊き、それに洗面所やキッチンへの給湯もできます。

■簡単工事で安価■

現在お使いのバランス形風呂釜と浴槽を取り外して、排気筒(煙突)の穴に、小型の新しい『風呂給湯器』を入れ固定します。

これに電源配線、水配管、ガス配管、浴槽へのお湯張り込み配管など接続します。

予めサイズを確認した浴槽(長さ一一〇〇又は一二〇〇mm)を浴室に運び込み、シャワー付き混合水栓(お湯と水が出るタイプ)を取り付け、お湯と水の配管などを接続します。

浴槽の傾きやガタツキを調整して、『風呂給湯器』の試運転、お客様に操作方法を説明して終了です。

タイル、壁、床など壊さないのでホコリも出ません。取替えのみなので工事も一日で済み、費用はユニットバスと比べ半分〜1/3程度の簡単工事費です。

■こんな方にお勧め■

もつと広い浴槽でゆつくり入りたいと思っているが、壁や床タイルもまだ大丈夫だし、この先、子供と同居で立て替えるかもしれない……。

など、先がよく分からないので、あまり費用を掛けたくない。

ないが、入浴を楽しみたいという方には、是非お勧めいたします。

■編集後記■

風呂釜が壊れた。タイルにヒビが入っている。水漏れしている。といったメンテナンスを含むもの。お孫さんができた。体が不自由になった。といった楽しみや快適性を求めるもなど、リフォームには様々な理由があります。

そんな様々なお声に答えられる工事をしたと思っています。お気軽にご相談ください。



リニューアル工房

シンテックス

増改築相談員・キッチンスペシャリスト

<http://www.egao-sintex.com/> 市原市桜台1-4-37

TEL 0436-66-8737

営業時間: 月~日曜日 8:30~20:00